

すぐに活用できる配合技術！

第267回ゴム技術シンポジウム

製品性能を高めるゴムの配合設計と新展開

～ゴム配合設計の基本とキーポイント～

主催：一般社団法人日本ゴム協会研究部会 配合技術研究分科会

協賛：高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本化学会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本材（予定）料学会、日本接着学会、日本トライボロジー学会、日本複合材料学会、日本レオロジー学会、プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会（順不同）

今回のシンポジウムではゴム製品の基本である配合設計について紹介します。ポリマー選定、配合設計の計算手法、金属直接接着用配合ゴム、シランカップリング剤、さらに加硫系配合について取り上げます。実際の配合設計の参考になるような講師陣をお招きして企画しました。プログラムの最後に講師の方々とディスカッションをする時間も用意しております。多数のご参加をお待ちしております。

日時：2020年3月6日（金）9：45～16：50

場所：東京電業会館 地下ホール <http://www.todenkyo.or.jp/access/>（東京都港区元赤坂 1-7-8）

受講料：日本ゴム協会会員・協賛団体会員 24,200 円 日本ゴム協会学生会員 5,500 円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属が法人としてゴム協会会員（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受け付けます。

シニア制度対象会員 12,100 円（60歳以上の正会員） 会員外 33,000 円

受講料には消費税、テキスト代を含みます。

申込方法：弊会ホームページ (<http://www.srij.or.jp/>) よりお申し込みください（定員 90 名）。

テキスト：当日、受付にてテキストをお渡しいたします。また、テキストは会期約1週間前から期間限定で弊会ホームページに掲載し、閲覧用PWをお知らせいたします。テキスト配付に相当いたします閲覧用PW通知後のキャンセルはお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通 7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。振り込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

お問合せ先：一般社団法人日本ゴム協会 第267回ゴム技術シンポジウム係（担当：倉田）

〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル1階

TEL：03(3401)2957 FAX：03(3401)4143 E-mail：kenkyuubukai@srij.or.jp

9：45～9：50 開会のあいさつ

配合技術研究分科会主査 鹿久保 隆志

9：50～10：50 ポリマー選定の基本とブレンドゴム配合設計

製品要求性能(耐熱・耐寒・耐油・耐オゾン性等)に応じた各種ポリマーの選定方法とブレンドゴムについての架橋系を中心とした配合設計について例を挙げて説明する。

【座長】(株)明治ゴム化成 榑原 正明
藤倉コンポジット(株) 堀田 透氏

【座長】(株)ブリヂストン 鈴木 英寿
ラテリアル事務所 中北 一誠氏

11：00～12：00 品質工学・実験計画法を用いたゴム配合設計方法

品質工学・実験計画法を用いて二律背反を克服する方法を説明する。

【座長】鬼怒川ゴム工業(株) 宇都木 宏之
元・横浜ゴム(株) 石川 泰弘氏

12：50～13：50 金属との直接接着用ゴムの配合設計

ゴムと金属の接着において接着剤を用いず直接接着させるには金属の硫化物を介して接着すると考えられるが、この硫化物の生成とそのゴム配合の依存性を論ずる。

【座長】横浜ゴム(株) 鹿久保 隆志
東京工業大学 高田 十志和氏

14：00～15：00 シランカップリング剤の製造法と活用法

無水多硫化ゾーダの新規合成法を基盤とする自動車タイヤ用シランカップリング剤の製造法について述べるとともに、シランカップリング剤の活用法、反応メカニズムについても議論する。

【座長】(株)白石中央研究所 杉田 智明
三新化学工業(株) 立畠 達夫氏

15：10～16：10 加硫剤の配合設計と調整のポイント

加硫系配合剤の選択とその効果について説明する。

【司会】(株)ブリヂストン 鈴木 英寿

16：15～16：45 講師による質疑応答

16：45～16：50 閉会のあいさつ

配合技術研究分科会副主査 鈴木 英寿

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/>からお願いいたします。